

Submitted in 09/597,150

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-126601

(43)Date of publication of application : 15.05.1998

(51)Int.Cl. H04N 1/32

(21)Application number : 08-291176

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 14.10.1996

(72)Inventor : GOTO TAKASHI

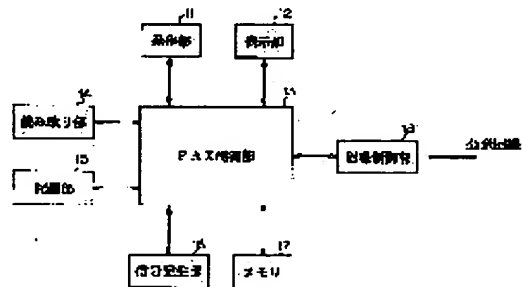
(54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To add a destination to a circulation list in the case that the user confirming a file at a circulation destination recognizes it that there is an object party who might desire browsing based on the contact of the file.

SOLUTION: An operation section 11 is able to make conventional facsimile operations and sets a plurality of destinations in the case of transmission for circulation. A display section 12 displays the destinations set through the operation section 11.

When the operation section 11 is used to make facsimile transmission, a transmission original is read by a read section 14 under the control of a FAX control section 13. The data of the original are assembled into an exclusive transmission formed by a signal generating section 16 with destination data via a memory 17 and the resulting data are sent to the set destinations via a line control section 18. The received formed is disassembled and decided by the FAX control section 13 and the image is stored in the memory 17 and printed out on recording paper by a recording section 15.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(51)Int.Cl.⁶

H 0 4 N 1/32

識別記号

F I

H 0 4 N 1/32

F

D

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 7 頁)

(21)出願番号

特願平8-291176

(22)出願日

平成 8 年(1996)10月14日

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

(72)発明者 後藤 隆

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式

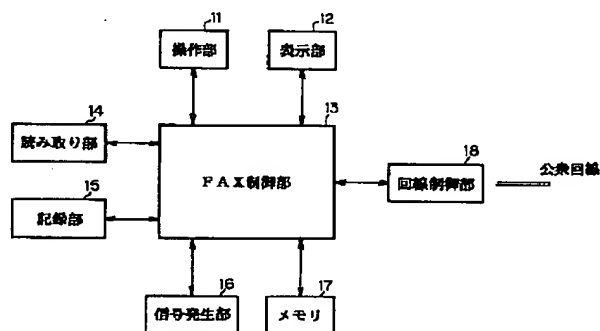
会社リコー内

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【課題】 回覧先でファイルを確認したユーザが、内容如何で閲覧した方が望まれると思われる対象者が存在すると認識した場合に、回覧リストにその宛先を追加することができる。

【解決手段】 操作部 11 は、一般的なファクシミリ操作を行うことが可能であり、本回覧送信を行う場合に、複数の宛先が設定可能である。表示部 12 は操作部 11 を介して設定されたこれらの宛先を表示することができる。操作部 11 からファクシミリ発信操作が行われると、FAX制御部 13 の制御により送信原稿が読み取り部 14 で読み取られ、宛先データとともにメモリ 17 を介して信号発生部 16 において専用の伝送フォーマットに組み立てられ、回線制御部 18 を介して設定された宛先に送信される。受信したフォーマットはFAX制御部 13 により分解されて解読され、画像はメモリ 17 に記憶されるとともに記録部 15 により記録紙に記録される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 自局の番号と複数の転送先の番号（回覧先リスト）を予め設定する設定手段を備え、自局番号と回覧宛先リストおよび回覧内容（画データ）を送信し、受信側が本送信種別ファイル（回覧送信）を受信した場合は、回覧リストに従い順次回覧ファイルが転送されかつ回覧が終った時点で、送信元に回覧結果を返送するファクシミリ装置において、回覧先毎に指定する送信モードとして、“内容確認後回覧”が設定されている場合は、閲覧者が本ファイルの回覧宛先リストの追加を行えるようにしたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 回覧先毎に指定する送信モードとして“内容チェック後回覧”が設定されている場合は、一定時間待期後内容の確認が成されない場合は、本宛先を無応答と判断し次の回覧先へ本回覧ファイルを送信したことを特徴とする請求項1に記載のファクシミリ装置。

【請求項3】 回覧納期が予め指定されている場合は、回覧途中の場合も納期を越えた時点で、回覧状態を保持する本回覧ファイルを送信元に返送することを特徴とする請求項1又は2に記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファクシミリ装置、より詳細には、自局の番号と複数の転送先の番号（回覧先リスト）を予め設定する設定手段を備え、自局番号と回覧宛先リストおよび回覧内容（画データ）を送信し、受信側が本送信種別ファイル（回覧送信）を受信した場合は、回覧リストに従い順次回覧ファイルが転送されかつ回覧が終った時点で、送信元に回覧結果を返送するファクシミリ装置の改良に関する。

【0002】

【従来の技術】図8は、本発明に適用される従来のファクシミリ装置の一例を説明するための要部構成図（特開平6-78125号公報参照）で、図8において、操作部11は一般的なファクシミリ操作を行うことが可能であり、特に、回覧板のように転送を行う場合に、図9に示すように、複数の相手先と自己の電話番号またはCSI（被呼端末識別信号）等の認識番号が設定可能である。なお、自己の電話番号等は最後に設定され、これらのデータはアスキーコードまたはバイナリコードでFAX制御部13内のRAMに記憶される。この場合、各相手先データを確認するために、各相手先データの先頭に区切りを示すビットが付加される。表示部12は操作部11を介して設定されたこれらの相手先等を表示する。

【0003】操作部11からファクシミリ発信操作が行われると、FAX制御部13の制御により送信原稿が読み取り部14により読み取られ、図9に示す相手先データとともに、メモリ17を介して信号発生部16において専用の伝送フォーマットに組み立てられ、回線制御部18を介して相手先に送信される。また、受信したフォ

ーマットは、FAX制御部13により分解されて解読され、画像はメモリ17に記憶されるとともに、記録部15により記録紙に記録される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】前記従来技術は、送信元で予め設定された回覧リストを元に順次ファイルが転送されるものであるが、回覧先でファイルを確認したユーザが、内容如何で閲覧した方が望まれると思われる対象者が存在すると認識した場合に、閲覧した内容を別途ファクシミリにより送付する必要がある、その作業が煩わしいばかりでなく、全員に回覧するのに時間がかかる等の問題があった。

【0005】本発明は、上述のごとき実情に鑑みてなされたもので、請求項1の発明は、回覧先でファイルを確認したユーザが、内容如何で閲覧した方が望まれると思われる対象者が存在すると認識した場合に、閲覧した内容を別途ファクシミリにより送付することなく、回覧リストにその宛先を追加することで容易に行えるとともに、時間を短縮することができるようにすること、請求項2の発明は、個々の回覧時間を制限することで、回覧ファイルの一箇所での停滞を防止し、回覧納期との組み合わせで、確実に全ての回覧先へ内容を転送することができるようにすること、請求項3の発明は、回覧ファイルに回覧納期を指定することで、送信元が望む期間内に回覧結果を返送することができるようにすること、を目的としてなされたものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、自局の番号と複数の転送先の番号（回覧先リスト）を予め設定する設定手段を備え、自局番号と回覧宛先リストおよび回覧内容（画データ）を送信し、受信側が本送信種別ファイル（回覧送信）を受信した場合は、回覧リストに従い順次回覧ファイルが転送されかつ回覧が終った時点で、送信元に回覧結果を返送するファクシミリ装置において、回覧先毎に指定する送信モードとして、“内容確認後回覧”が設定されている場合は、閲覧者が本ファイルの回覧宛先リストの追加を行えるようにしたことを特徴とし、もって、回覧先でファイルを確認したユーザが、内容如何で閲覧した方が望まれると思われる対象者が存在すると認識した場合に、閲覧した内容を別途ファクシミリにより送付することなく、回覧リストにその宛先を追加することで容易に行えるとともに、時間を短縮することができるようにしたものである。

【0007】請求項2の発明は、請求項1の発明において、回覧先毎に指定する送信モードとして“内容チェック後回覧”が設定されている場合は、一定時間待期後内容の確認が成されない場合は、本宛先を無応答と判断し次の回覧先へ本回覧ファイルを送信することを特徴とし、もって、個々の回覧時間を制限することで、回覧ファイルの箇所での停滞を防止し、回覧納期との組み合わせ

せで、確実に全ての回覧先へ内容を転送することができるようにしたものである。

【0008】請求項3の発明は、請求項1又は2の発明において、回覧納期が予め指定されている場合は、回覧途中の場合でも納期を越えた時点で、回覧状態を保持する本回覧ファイルを送信元に返送することを特徴とし、もって、回覧ファイルに回覧納期を指定することで、送信元が望む期間内に回覧結果を返送することができるようにしたものである。

【0009】

【発明の実施の形態】図1は、本発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するための要部概略構成図(図8と同じ)で、図8で説明したように、操作部11は、一般的なファクシミリ操作を行うことが可能であり、特に、本回覧送信を行う場合に、図2に示すように、複数の宛先が設定可能である。これらのデータは、アスキーコードでFAX制御部13内のRAMに記憶される。表示部12は操作部11を介して設定されたこれらの宛先を表示することができる。この操作部11からファクシミリ発信操作が行われると、FAX制御部13の制御により送信原稿が読み取り部14で読み取られ、図3に示すような宛先データとともにメモリ17を介して信号発生部16において専用の伝送フォーマットに組み立てられ、回線制御部18を介して設定された宛先に送信される。また、受信したフォーマットはFAX制御部13により分解されて解読され、画像はメモリ17に記憶されるとともに記録部15により記録紙に記録される。

【0010】最初に、図4に示す回覧送信プロトコルを参照して、送信側での動作について説明する。まず、受信側がコーリングトーンを受信してCED(被呼端末識別)信号とDIS(デジタル識別信号)を送信すると、送信側は最初のNSS(非標準機能設定、図5)により自局番号等を送信する。そして、受信側がCFR(受信準備確認)を送信すると、送信側は、2回目のNSS信号を送信する。以降、回覧宛先を順次このシーケンスにより送信する。回覧宛先を全て送信終了すると、再度、NSS信号の後、トレーニング信号を送信し、受信側からCFRを受信した時点で、回覧内容(画データ)を送信する。送信側は、回覧内容を送信し終わると、EOP(ページ終了)信号を送信し、DCN(回線切断)を送信して終了する。

【0011】次に、図6及び図7に示すフローチャートに従って受信側での動作について説明する。受信側は、回覧送信ファイルを受信すると、回覧内容を出力する。そして、受信結果ステータスをセット後(送信OK)、送信元で設定されている本回覧ファイルの回覧納期をチェックし、納期を越えていた場合は、送信元を宛先に設定し、速やかに返送する(S6)。

【0012】一方、回覧納期内の場合は、その送信モードから受信元での宛先ユーザの確認の要/否ステータス

をチェックする。ユーザ確認を必要としない場合(S1)は、宛先リストから次宛先を検索し、決定すると送信を開始する。ただし、送信が失敗(話中、着信不可)、S11すると、送信結果ステータス(発呼回数をインクリメント)をセット後、回覧宛先ファイルを修正し、再度、宛先を検索した後送信する。また、宛先検索時、次宛先が無い場合は、回覧送信が終了したということで、送信元に返送する。送信OKでない宛先についても、発呼リトライ回数が予め決められた上限値を越えている場合は、送信失敗として送信ステータスにセットされ、再発呼は行わない。

【0013】また、ユーザ確認を必要とする場合(S2)は、ファイル待期タイマー(TMI)をスタートして、受信元で送信待期ファイルとしてユーザ確認待ち状態となる(S3)。ここで、同時に、回覧納期およびファイル待期タイマーの監視を行い、それぞれタイムアウトを検出した時点でユーザ未確認ステータスの設定後、次宛先へ送信する(S8)か、または、送信元に返送する(S7)。

【0014】回覧内容をユーザ確認すると(S10)、その内容により新たに回覧先を追加することができる(S9)。コメント等付加データを必要とする場合は(S4)、読み取り部で画データを読み取り後、回覧送信ファイルの画データに付加する。以降、ユーザ確認を必要としない場合と同様である。ユーザがコメント付加無し設定した場合(S5)は、以降、ユーザ確認を必要としない場合と同様で、次宛先ファイル検索後、送信する。

【0015】

【発明の効果】請求項1の発明は、自局の番号と複数の転送先の番号(回覧先リスト)を予め設定する設定手段を備え、自局番号と回覧宛先リストおよび回覧内容(画データ)を送信し、受信側が本送信種別ファイル(回覧送信)を受信した場合は、回覧リストに従い順次回覧ファイルが転送されかつ回覧が終った時点で、送信元に回覧結果を返送するファクシミリ装置において、回覧先毎に指定する送信モードとして、“内容確認後回覧”が設定されている場合は、閲覧者が本ファイルの回覧宛先リストの追加を行えるようにしたので、回覧先でファイルを確認したユーザが、内容如何で閲覧した方が望まれると思われる対象者が存在すると認識した場合に、閲覧した内容を別途ファクシミリにより送付することなく、回覧リストにその宛先を追加することで容易に行えるとともに、時間を短縮することができる。

【0016】請求項2の発明は、請求項1の発明において、回覧先毎に指定する送信モードとして“内容チェック後回覧”が設定されている場合は、一定時間待期後内容の確認が成されない場合は、本宛先を無応答と判断し次の回覧先へ本回覧ファイルを送信するようにしたので、個々の回覧時間を制限することで、回覧ファイルの

箇所での停滞を防止し、回覧納期との組み合わせで、確実に全ての回覧先へ内容を転送することができる。

【0017】請求項3の発明は、請求項1又は2の発明において、回覧納期が予め指定されている場合は、回覧途中の場合も納期を越えた時点で、回覧状態を保持する本回覧ファイルを送信元に返送するようにしたので、回覧ファイルに回覧納期を指定することで、送信元が望む期間内に回覧結果を返送することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明が適用されるファクシミリ装置の一例を説明するための要部概略構成図である。

【図2】 本発明の実施に使用される回覧宛先リストのフォーマットを示す図である。

【図3】 図2に示した回覧宛先のステータスを示す図である。

【図4】 本発明によるファクシミリ回覧送信プロト

コルを説明するための図である。

【図5】 図4に示した回覧送信NSSのビットアサインを示す図である。

【図6】 本発明によるファクシミリ装置の受信側回覧処理の一例を説明するためのフローチャートの一部を示す図である。

【図7】 図6に示した受信側回覧送信処理のフローチャートに続くフローチャートを示す図である。

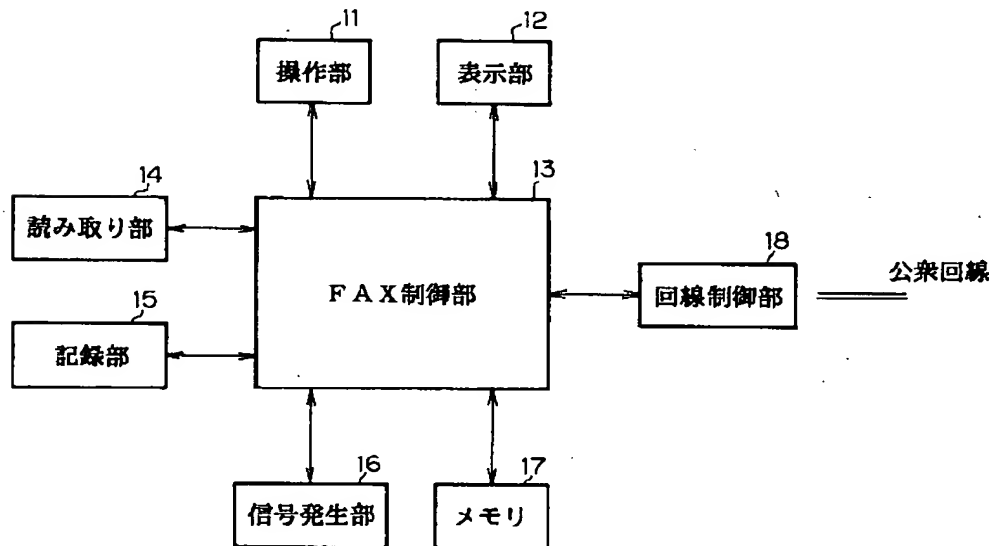
【図8】 本発明が適用される従来のファクシミリ装置の一例を説明するための要部構成図である。

【図9】 図8に示した従来のファクシミリ装置に使用される相手先データの一例を示す図である。

【符号の説明】

11…操作部、12…表示部、13…FAX制御部、14…読み取り部、15…記録部、16…信号発生部、17…メモリ、18…回線制御部。

【図1】



【図2】

送信元	ステータス 自局番号
宛先1	ステータス 番号
宛先2	ステータス 番号
...	...
宛先N	ステータス 番号

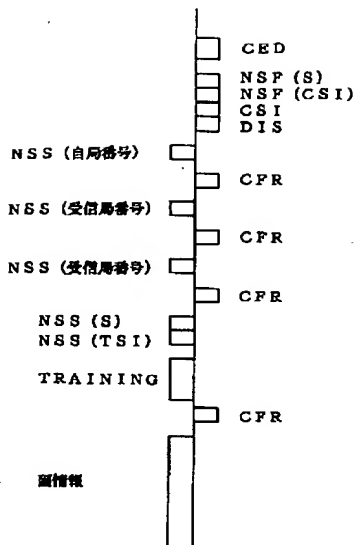
【図3】

bit	0:送信モード チェック有り(1)/無し(0)
1	付加データ有り(1)/無し(0)
2	予約
3	予約
4	送信結果(発呼回数)
5	同上
6	同上
7	同上

【図5】

bit	項目
1~16	CCTTTコード
17~24	メーカーコード
25~32	回覧送信モード
33~48	ボーリングID
49	モデムレート
50	
51	フレーム位置
52	
53	自局番/回覧宛先
54	
55	バイオレーション
56	
57~80	回覧納期
81~104	ファイル特機時間
104~184	ステータス/番号

【図4】

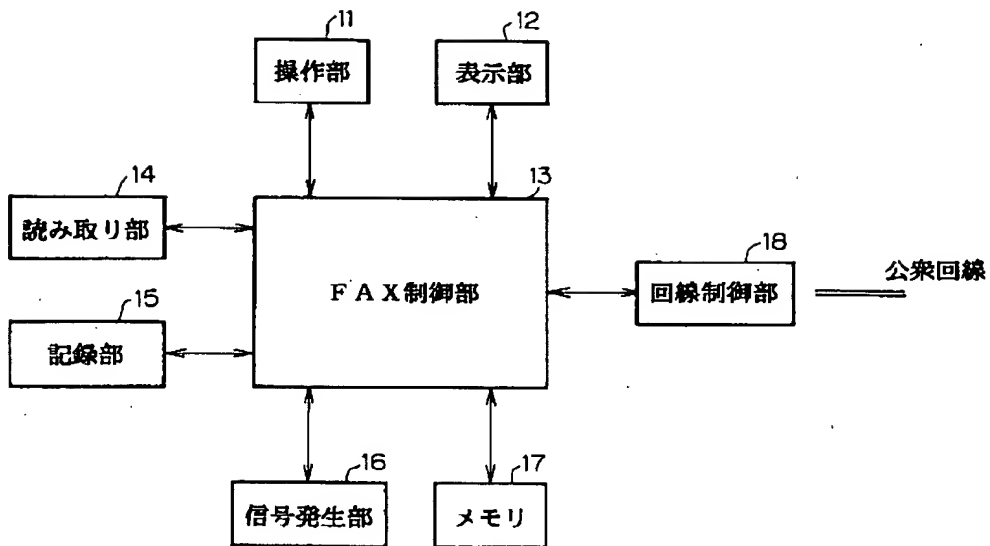


【図9】

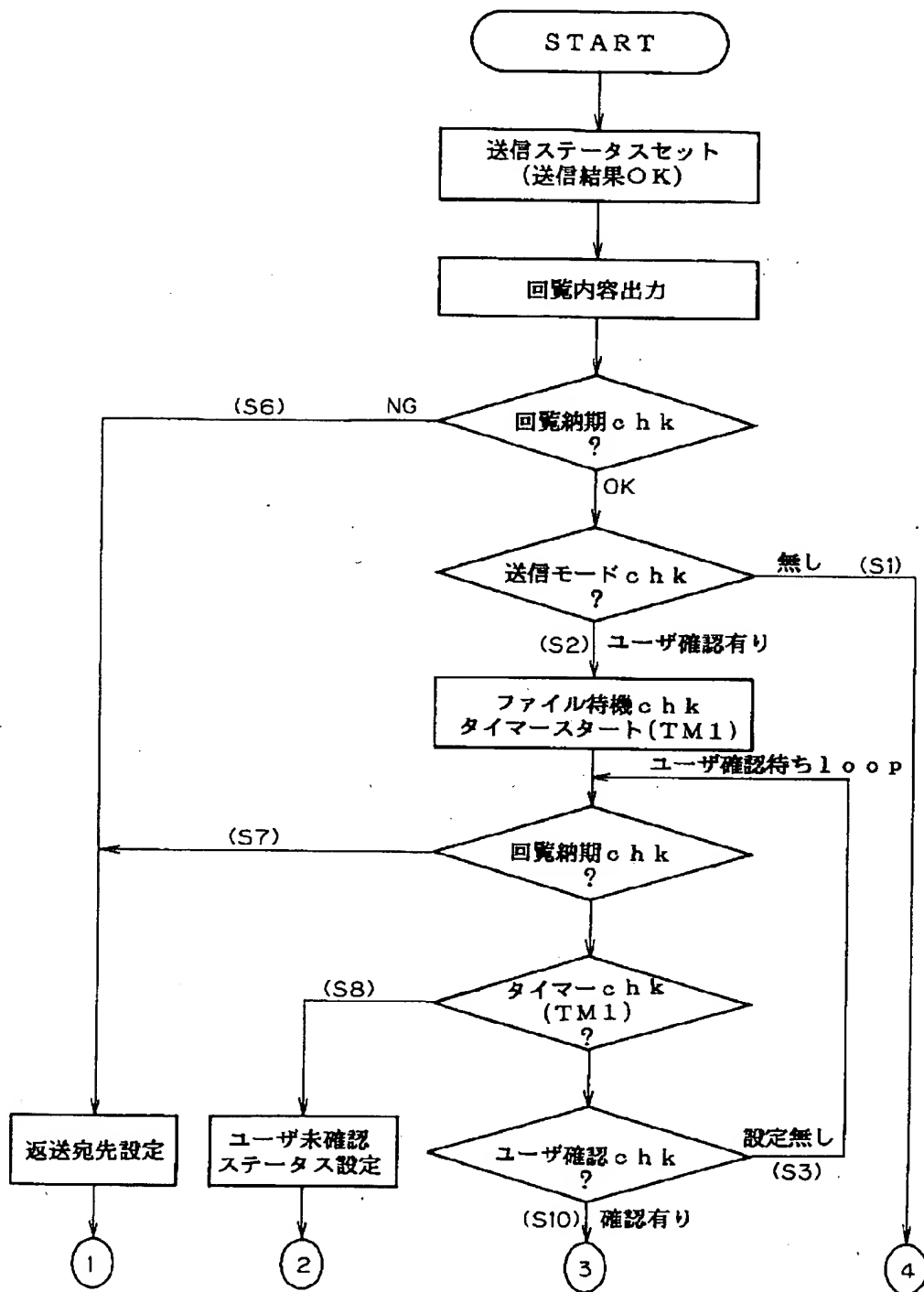
相手先1	相手先2	相手先3	相手先4	相手先N	起点者
------	------	------	------	-------	------	-----

相手先1:10桁以内または付加ビット付きで、ASCIIまたはBCDで占められている

【図8】



【図6】



【図7】

